

活 用 事 例	京都市立桃陽総合支援学校	大杉仁彦教諭
担当：北村あゆみ教諭、西村悠里教諭、児島公子教諭		
活用事例タイトル	ICT 機器を使った音読発表会	
対象授業科目/活動	国語 / 音読発表会	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICT の使用局面など)	<p>&lt;教科名&gt; 国語 2年「ふきのとう」 3年「きつつきの商売」</p> <p>&lt;単元&gt; 「ふきのとう」 (2年) 「きつつきの商売」 (3年)</p> <p>&lt;単元の目標&gt; (2年) 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにする。 ・場面の様子について、登場人物の様子や会話を中心に想像を広げながら読むことが出来るようにする。 (3年) ・場面の様子が分かるように音読を工夫し、発表する事ができるようにする。</p> <p>&lt;実施時期&gt; 5月2日(木) 2時間目 (9時30分～10時15分)</p> <p>&lt;参加人数&gt; 本校2名, 京大分教室2名, 府立分教室4名 計8名(内, 病室から参加2名)</p> <p>&lt;ICT の使用局面&gt; 本校教室と分教室・病室をテレビ会議システムでつなぐことにより、離れていても参加できる授業を構成した。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>&lt;ねらい&gt; 本校・分教室の児童は、違う病院に入院しており、それぞれが顔を合わせたことはないので、「同じ学校の生徒」という意識は少ない。そのため、「1つの学校である」という意識を育てるということを目的とした。また、協働学習システムを活用し意見を交換することで、学習意欲の向上を目指す。</p> <p>&lt;効果&gt; ・テレビ会議システムを使って、同じ時間に同じ単元を一緒に読み進める活動を通して、一体感や達成感を感じることができる。 ・違う病院に入院していて、顔を合わせたことはないため、テレビ会議システムを使うことで「同じ学校の生徒」という意識を育むことが出来る。 ・協働学習システムを活用して意見交流することで、学習に対する意欲の向上につながる。</p>	

<p>評価、振り返り（活動の評 判や児童・生徒の声など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日練習してきた音読を、違う場所にいながらみんなで読み進めた事がとてもうれしかったようだった。</li> <li>・登校は出来なかったが、ベットサイドにいる状況の中でも参加する事ができ、自分の担当するところを音読出来たことがよかった。</li> <li>・治療中でとても体調のすぐれない児童もいたが、車椅子で登校し、しっかりやり遂げることが出来た。自分の役割を達成したいという思いと、本校や他の分教室の同じ年の児童と同じ学習をする事をとても楽しみにしていたことが伺えた。</li> <li>・「音読発表会をする」という目標に向かって毎日練習する姿をみて、学習意欲の向上につながっていたのではないかと思う。</li> </ul>
<p>その他 (関連 WEB サイト等ありま したらご記入ください。)</p>	<p>文部科学省「学びのイノベーション事業」、総務省「フューチャースクール推進事業」  <a href="http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/toyo-y/future_school/index.html">http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/toyo-y/future_school/index.html</a></p>

## 国語科授業指導案

日	時：平成 25 年 5 月 2 日（木）第 校時（9 時 30 分～10 時 15 分）
学	年： 小学部 2・3 年
授 業 者：	寺崎真悟・村上素子（本校）佐藤敏彦・佐原正紀（京大分教室） 岩瀬亮太・北村あゆみ（府立分教室）
授 業 場 所：	府立分教室 小学部教室

<b>児童生徒の障害</b>	
■	病弱（ 8 名：内 発達障害 2 名 ）
□	病弱・知的 重複障害（ 名 ）
□	病弱・肢体不自由 重複障害（ 名 ）

1. 単元（題材）名
  - 「ふきのとう」（2 年）
  - 「きつつきの商売」（3 年）
2. 単元（題材）の目標
  - （2 年）
    - ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにする。
    - ・場面の様子について、登場人物の様子や会話を中心に想像を広げながら読むことが出来るようにする。
  - （3 年）
    - ・場面の様子が分かるように音読を工夫し、発表する事ができるようにする。
3. 単元（題材）の指導計画
  - 指導計画
  - （2 年）（全 10 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	物語を音読する楽しさについて話し合う。	
第 2 時	学習課題を設定し、学習計画を立てる。	
第 3 時	「ふきのとう」を読み、感想を交流し、あらすじをとらえる。	
第 4 時	物語の中にどんな登場人物が出てくるかをまとめる。	
第 5 時	全文を音読しおもしろいところや好きなところを見つける。	
第 6 時	役割を決め、各教室で音読をする。	
第 7 時 (本時)	音読発表会をし、感想を交流する。（7 / 10）	テレビ会議システム リモートカメラ

第8時	春をテーマにした本を読む。	
第9時	自分が選んだ本を音読して伝えあう。	
第10時	教科書 p15 の絵を見て、「一と、一」の文型を使って文を書く。	

(3年) (全9時間)

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	「きつつきの商売」を読み，学習の見通しをもつ。	
第2時	物語全体が1・2の二つの「おとや」の場面で構成されていることを知り，それぞれの場面を読み比べる。	
第3時	野うさぎが注文した音や場面の様子を想像し，きつつきの日記を書く。	
第4時	野ねずみの家族の会話からにぎやかな様子を想像して日記を書く。	
第5時	音読発表会の計画を立てる。	
第6時	分担を決めて各教室で練習をする。	
第7時 (本時)	音読発表会をし，感想を交流する。(7/9)	テレビ会議システム リモートカメラ
第8時	「こんな動物がお店を開いたら，おもしろいな」と思うものを想像して「かんばん」を書く。	
第9時	友達と作品を見せ合い，感想を交流する。	

#### 4. 本時の目標

(2年) 登場人物の様子が伝わる読み方を工夫して，音読することができる。

(3年) 話の内容が伝わるような工夫をして，音読することができる。

## 5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔・音読発表 ・感想交流 〕 ・指導者 〔・説明 〕
活用するコンテンツ	
活用する機器	・テレビ会議システム ・リモートカメラ

## 6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議システムを通して、本校と分教室、ベットサイドの生徒であいさつをする。</li> <li>・音読発表会の説明をする。</li> </ul>	テレビ会議システム  リモートカメラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学年の発表を聞いている時は、いい所を見つけながら聞くことを伝える。</li> </ul>
展 開	<b>協働学習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生は「ふきのとう」を音読発表する。</li> <li>・3年生は発表を聞く。</li> <li>・感想を交流する。</li> <li>・3年生は「きつつきの商売」を音読発表する。</li> <li>・2年生は発表を聞く。</li> </ul>	テレビ会議システム  リモートカメラ  テレビ会議システム  リモートカメラ  テレビ会議システム  リモートカメラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いている人に伝わりやすいように、大きな声でゆっくりと発表することを心がけるよう伝える。</li> <li>・3年生は、2年生のいい所を見つけながら聞くことを伝える。</li> <li>・発言する生徒は、指導者が指名する。また、なるべく本校・分教室・ベットサイドの児童が 発言できるようにする。</li> <li>・聞いている人に伝わりやすいように、大きな声でゆっくりと発表することを心がけるよう伝える。</li> <li>・2年生は、3年生のいい所を見つけながら聞くことを伝える。</li> </ul>

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を交流する。</li> <li>・今日の授業の感想を言う</li> </ul>	<p>テレビ会議システム</p> <p>リモートカメラ</p> <p>テレビ会議システム</p> <p>リモートカメラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言する生徒は，指導者が指名する。また，なるべく本校・分教室・ベツトサイドの児童が 発言できるようにする。</li> <li>・感想を交流できていない児童を指名するようにし，本校・分教室・ベツトサイドの児童が一言でも話せるようにする。</li> </ul>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

（2年）登場人物の様子が伝わる読み方を工夫して，音読することができたか。

（3年）話の内容が伝わるような工夫をして，音読することができたか。

8. 準備物

国語教科書